



ルータの設定

このタスクを開始する前に、「コンプライアンスと安全性の情報」セクション安全上の警告を読み、確実に理解しておいてください。

Cisco ルータの設定には、次のタスクが含まれます。

- [ルータの初期設定の作成](#) (1 ページ)
- [ルータの取り付けの確認](#) (3 ページ)

ルータの初期設定の作成

ルータ管理インターフェイスに IP アドレスを割り当て、ルータをネットワークに接続できるようにします。

初めてルータの電源を入れると、ルータが起動し、ルータの設定に役立つ一連の質問が表示されます。ユーザが入力する必要がある IP アドレスを除き、各設定にはルータをネットワークに接続するためのデフォルトの選択肢を使用できます。



(注) これらの機器は、完全に起動して実行されている隣接するルータに応じて、30 分未満で起動するように設計されています。

始める前に

- コンソール デバイスをルータに接続する必要があります。
- ルータを電源に接続する必要があります。

手順

ステップ 1 ルータの電源を投入します。

電源装置からルータに電力が供給されると、各電源装置のLEDが点灯（緑）し、ルータを使用するためのパスワードを指定するように求められます。

ステップ2 システムを初めて起動すると、新しいユーザ名とパスワードが作成されます。次のプロンプトが表示されます。

```
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!! NO root-system username is configured. Need to configure root-system username.
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

--- Administrative User Dialog ---

Enter root-system username:
% Entry must not be null.

Enter root-system username: root
Enter secret:
Use the 'configure' command to modify this configuration.
User Access Verification

Username: root
Password:

RP/0/RP0/CPU0:ios#
```

ステップ3 このルータに使用する新しいパスワードを入力します。

パスワードのセキュリティ強度が確認され、強力なパスワードであると見なされない場合、そのパスワードは拒否されます。パスワードのセキュリティ強度を上げるには、次のガイドラインにパスワードが従っていることを確認します。

- 最低 8 文字
- 連続した文字（「abcd」など）の使用を最低限にするか使用しない
- 文字の繰り返し（「aaa」など）を最低限にするか使用しない
- 辞書で確認できる単語が含まれない
- 正しい名前を含んでいない
- 大文字および小文字の両方が含まれている
- 数字と文字の両方が含まれている

（注）

平文のパスワードには、特殊文字のドル記号（\$）を含めることはできません。

ヒント

パスワードが平凡な場合（短くて解読されやすいパスワードなど）、そのパスワード設定は拒否されます。この手順の注意事項で説明したように、強力なパスワードを設定してください。パスワードは大文字と小文字が区別されます。

強力なパスワードを入力すると、パスワードを確認するように求められます。

ステップ 4 パスワードを再度入力します。

同じパスワードを入力すると、パスワードが受け入れられます。

ルータの取り付けの確認

Cisco ルータを設置したら、**show** コマンドを使用して設置および設定内容を確認します。問題が検出された場合は、設定作業を続行する前に修正を行ってください。

1. show inventory

製品 ID、シリアル番号、バージョン ID などの現場交換可能ユニット (FRU) に関する情報を表示します。

例：

```
#show inventory
```

2. show environment

ルータの環境関連の情報がすべて表示されます。

例：

```
# show environment
```

3. show environment temperature

オンボード温度センサーと PSU の温度測定値が表示されます。各温度センサーには、次の 3 つのしきい値があります。

- マイナー温度しきい値：マイナーしきい値を超えるとマイナーアラームが発生し、すべてのセンサーで次の処理が行われます。
 - システムメッセージが表示されます。
 - SNMP 通知が送信されます（設定されている場合）。
 - 環境アラームイベントのログ記録がトリガーされます（これを確認するには **show alarm** コマンドを実行します）。
- メジャー温度しきい値：メジャーしきい値を超えるとメジャーアラームが発生し、すべてのセンサーで次の処理が行われます。
 - システムメッセージが表示されます。
 - SNMP 通知が送信されます（設定されている場合）。
 - 環境アラームイベントのログ記録がトリガーされます（これを確認するには **show alarm** コマンドを実行します）。
- 危険温度しきい値：危険しきい値を超えると危険アラームが発生し、次の処理が行われます。

- どのメインボードセンサーの場合でも、システムがシャットダウンされます。
- PSU センサーの場合、特定の PSU がオフになります。

4. **show environment power**

ルータ全体の電力使用情報が表示されます。

例：

```
#show environment power
```

5. **show environment voltage**

ルータ全体の電圧が表示されます。

例：

```
#show environment voltage
```

6. **show environment current**

ルータのさまざまな電圧レールの電流が表示されます。

例：

```
#show environment current
```

7. **show environment fan**

すべてのファン（PSU のファンを含む）の速度が表示されます。

例：

```
#show environment fan
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。